



## ひとりで悩みを抱える人に寄り添い、自立の背中を押したい

特定非営利活動法人 亘理いちごっこ

つらい経験を一人ではなく共に乗り越える、高齢者を地域で支え合うつながりをつくる傾聴活動にご支援ください。



特定非営利活動法人  
亘理いちごっこ  
代表理事:馬場照子

5人の子をもつ主婦。避難所で炊き出しのお手伝いをし、その後カフェレストランを立ち上げました。全国からの支援に感謝感謝の毎日です。

### 町の半分が浸水しました

太平洋に面し平野が広がる宮城県亘理町は、東北にありながら温暖な気候を特徴とし、いちごなどの農業や水産業が盛んな町。しかし東日本大震災による津波の影響で町の半分にあたる約 35 平方キロメートルが浸水。多くの町民が住まいを失い、2012 年 12 月末日現在も 3,622 人が仮設住宅やみなし仮設での生活を与儀なくされています。

地元住民と接する中、被災した方たちが様々な不安を抱えている現状を目の当たりにしました。震災体験が頭から離れない、仕事がない、慣れない仮設住宅での生活……。外に出るきっかけがなく悩みをひとりで抱え

込んでしまいがちな人の声も聞く必要があると考え、仮設住宅やみなし仮設を訪問し傾聴活動を行う“お話聞き隊”活動を 2011 年 9 月に開始しました。

2, 3 人グループで仮設住宅や自宅を一軒一軒訪問して、カフェやイベントの案内をしながら生活でお困りのことがないかを聞いていきます。お話聞き隊のメンバーも被災した亘理町の住民。つらい経験を共有するからこそ分かる悲しみや悩みを耳を傾けています。2013 年 2 月現在、スタッフとボランティア含め 15 人が活動に参加。訪問した方おひとりおひとりの様子を記録し、必要な場合には訪問頻度を高くする、あるいは町役場や社会福祉協議会等の支援窓口へ繋いでいます。

### コミュニティがバラバラになり、皆孤独とたたかっています

また、2012 年 12 月から仙台市や名取市など亘理町外のみなし仮設に避難している人たちを対象にした移動お茶のみサロンを始めました。参加する方は大半が高齢の方。「亘理の人に会いたかった」「また集まりたい」「こういう機会を待ち望んでいた」という反響があり、みなし仮設に避難している方々がいかに孤独かがわかります。

被災地は一人で困難を乗り越えていくことが非常に厳しい状況。まずはその困難を吐き出す場が必要です。語ることで自己解決する力をそれぞれが持っています。被災によって受けた負荷を少しでも軽くし、前に歩む一歩を踏み出してほしいと願っています。

### 孤立していく人を救い、これ以上の犠牲者をださないため、亘理いちごっここの活動にご支援ください。

#### お話聞き隊スタッフ(50代女性)の声

自宅が全壊し、現在は仮設住宅で暮らしています。お話聞き隊のメンバーと会話を交わすうちに心が晴れ、いまは活動に参加しています。いろんな方に巡り合い、私自身も救われています。



**目標金額 115万円**

### 寄付特典

♥ 5,000円寄付すると

被災された方たちが作る「いちごっこたわし」と、会報誌「亘理いちごっこ活動レター」をお届け。

♥ 10,000円寄付すると

被災された方たちが作る「いちごっこたわし」と、会報誌「亘理いちごっこ活動レター」、ポストカードをお届け。

♥ 30,000円寄付すると

「いちごっこエプロン」と、会報誌「亘理いちごっこ活動レター」をお届け。

特定非営利活動法人 亘理いちごっこ (代表理事:馬場照子)

所在地:宮城県亘理郡亘理町

事業地:宮城県亘理郡亘理町、他

ホームページ : [watari-ichigokko.blogspot.jp](http://watari-ichigokko.blogspot.jp)

フェイスブック: [www.facebook.com/watari.ichigokko](https://www.facebook.com/watari.ichigokko)

【銀行】七十七銀行 本店営業部(普) 9503579

一般財団法人地域創造基金みやぎ 代表理事 大滝 精一

【郵便】記号 02270-3-134826

一般財団法人地域創造基金みやぎ 通信欄: 見守り

クレジット・現金書留でも受け付けております ⇒ 14ページ参照